

# 小松市立荒屋小学校 学校教育ビジョン 2026

<教育理念>

**自律**:自分で考え、より良い生き方を選択する。 **共生**:多様性を尊重し、お互いから学び高め合う。 **創造**:よりよい未来のために、試行錯誤する。

## 学校スローガン：子どもが主役の学校

<学校教育目標>

仲間と共によりよい社会を切り拓く資質・能力の確実な育成



### ★めざす児童像★ 「じ・も・と」で育つ あらやの子

**じ** 自分で考え行動する。

- ・自分なりの考えを持つ。
- ・よく考え判断する。
- ・よいと思ったことは進んで行く。

**も** もっと良くなろうとする。

- ・より良いものを目指す。
- ・粘り強く最後まであきらめずやりぬく。

**と** 共に学ぶ 思いやる

- ・自分も周りの人も大切にする。
- ・対話し、多様な考えから学ぶ。
- ・感謝の気持ちをもつ。

### 1. 教育活動全般を通じた主体的な児童の育成

#### ★カリキュラム・マネジメントの確立

- 学校行事や学習活動と関連したキャリア教育の推進と充実
- 児童会活動や特別活動の活性化による自治的自主的活動の充実と質の向上
- 体験活動や探究的な学習の場の工夫と汎用能力の育成
- 異学年交流による協働・共生の意義・良さの実感による活動の充実を深める
- コミュニケーション力・聞き合う力・対話力等の育成の更なる充実を図る
- 話し合い活動を通じた主体的な意思決定や合意形成による前向きな活動
- 資質・能力の一体的な育成の可視化
- 統合的な理解と総合的な発揮を目指す

### 2. 自律した学び手の育成 ～自ら学び力が付く授業づくり～

#### ★ねらい達成のための個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実による深い学びの実現

- 教材研究の充実(教科横断的な学習)
- つきたい力の明確化(単元デザイン)
- つきたい力を実力として着実に身につける
- 好奇心を生む学びの必然性のある課題設定
- 学習形態を判断・選択し、自己調整ながら学びを促す働きかけや手立ての工夫
- 児童の見取りと確かな指導・支援と評価
- 多様な他者との対話や協働を通じた考えの再構築や学びの充実
- 一層の対話力・言語活用能力・表現力の向上
- ICTの活用による学びの質の向上
- 振り返りによる学びの実感と次時への繋がり(自己調整力の育成)

### 3. 心身ともに豊かでたくましい子の育成

#### ★生徒指導の4つの視点を生かした温かな集団作り

- 道徳教育の充実
- 多様性を尊重する態度の育成
- 互いのよさを生かした協働する力の育成
- 学校生活の習慣化と学習規律の実行
- 活動の過程や成果を重視した指導と評価の工夫
- 安全への意識向上と指導の徹底
- 健康や感染対策に関する指導の充実
- 体力・運動能力の向上
- 学びを生活に活かそうとする意欲・学び続ける意欲を高めるための工夫
- 好奇心やチャレンジ意欲の向上
- 健康的なメディアの利用

## 安心・安全な学校・学級づくり (組織的な学校運営)

- 生徒指導の実践上の視点による学校・学級づくり 教職員全体での児童の様子の見取りと支援
- いじめや不登校の未然防止
- 危機管理意識の向上
- 人材育成と業務改善
- 明るく風通しの良い職員室づくり
- 情報発信による開かれた学校づくり



- 育友会・家庭や地域との協働・連携
- 専門機関・関係機関・学校校種間との連携
- 児童が地域の良さを感じられるような学習活動や教師の働きかけの工夫
- 各家庭と連携し、健康的なメディアの利用
- 特色ある活動の継続と、保護者や地域への発信
- 地域人材の活用と児童の地域活動への参加
- 幼保小中の連携推進「願う子どもの姿=板津人」の実現